



奥 総 政
平成19年 4月 7日

国土交通省道路局長 様

北海道奥尻町長 和田 良



道路整備に係る中期的な計画の作成にあたっての意見について (回 答)

日ごろ本町行政推進について何かとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成19年4月2日付け国道企第114号にてご依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり当職の意見を提出しますので、よろしく願いいたします。

(総務課政策推進係)

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

北海道奥尻町長 和田 良 司

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

「安全・安心の確保」を最優先すべきである。特に最近各地で大規模地震などの自然災害が多発しているが、本町においても1993年の北海道南西沖地震災害で幹線道路（北海道道）が寸断され、被害の拡大を招き、救助活動に大きな支障をもたらした。耐震補強3箇年プログラムに基づく優先確保ルートは概ね完了したとあるが、防災拠点と市街地とを結ぶ幹線道路の耐震対策や豪雨対策等の整備促進を積極的に推進すべきである。

また、悲惨な交通事故死が後を絶たない。歩道等の整備促進や危険箇所
の解消などに努めるべきである。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

現道の利用状況や防災、生活環境上の必要度等を再評価し、維持改良が必要なもの、機能強化を図らなければならないものを重点的に整備すべきである。

また、新規路線開設にあたっては、費用対効果を明確にし、場合によっては効果指数外であっても地域振興の視点から採択されること。その際には地元自治体や住民の意見を広く聴取すべきである。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

本町は北海道の離島であり、本土からはフェリー航路で61km離れている。当然島内には国道はないが、フェリー航路が国道のようなものである。フェリー航路を国道とみなして地方港湾に「道の駅」と同様の施設を整備したりできるような制度の創設を望む。